出席者:

役員:末國、長岡、中野、川本、竹野

常会長:宮崎、木本、児玉、川本

理事:中田

2025年度中の村自治会 次 第

8月23日(土) 19時~川地自治会館 19~20時

1 開 会

末國:

- ・2ページの内容は自治会通信7月に掲載済み
- ・2ページの駅周辺の環境整備範囲(4,5ページ) は、藤岡市議を通じてJR側との交渉を要請済み (結果が出たら理事会で相談、それまで変更な し)。 10月1日に会合予定(9月1日連絡あり)
 - ・2ページの芸能伝統保存会出演依頼書は6ページに示した。これで提出してよいか。8/28提出
 - ・木舟踏切の件、JRの要請もあるので9月市広報と 同時に中の村と志和地自治会の各戸に配布したい。 (7ページについて更に文案調整中)

- 2 会長あいさつ
- 3 報告・確認事項
- ① 支援交付金による活動計画 <別紙>
- ② 木舟踏切について
- <別紙>
- ③ 町内一斉声かけ運動
- ④ 広報仕分け配布 9/9 10/9 11/7 木舟常会長→各常会長

4協議事項

- 1) 合同敬老会 *担当スタッフ
 - 9月15日(祝·月)9:00受付 *中野副会長*竹野事務局次長 *川本正勝 準備14日(土)15:00~ *末國会長 *長岡副会長 五常会14名参加/46名(該当者)
 - ※寄付金@500 円×戸数 本日集金 払い込み済み
 - ※11 時~記念品(敬老祝い)配布 事務局→各常会長宅→各対象者(参加者を除く)
- 2) 当面の予定について
 - ① 河川清掃(缶ひらい) 10/5(日) 7:30~
 - ② 環境整備事業 (駅周辺、桜土手) 10/5(日) 8 時~9 時 駅の南側土手に 燃料用意 () 給水 (お茶等) 購入 () 切った枝が放置されている ボランボ デルフナウ 44/2 日) 0 味 れている。
 - ③ 中の村自治会グランドゴルフ大会 11/3日) 9時~ 案内配布 10/9 (広報配布にあわせて)
 - *詳細は長寿会代表と実行委員会で協議して実施
 - ④第 23 回川地ふる里まつり 11/16(日) *参加申込(〆切)9/22 ※中の村自治会として地域特産品、リサイクル商品販売で参加予定 前年と同じ内容 ※当日のスタッフ(お手伝い等は次回理事会で協議)
- 3) その他

*次回理事会 10月25日19時~

木本:大坪常会長が消防団後援会(第3分団と連合)の役員になった。

任期は4年と3年なので常会長が務めることになった。集金が主な仕事です。

児玉:放置されている枝は、「とんど」に使ったらどうか。毎年集めるのに苦労している。

末國:良い案。多面的で対応できないか相談してみる。

5. 閉会

理事会報告事項

自治活動支援交付金による活動計画

6月17日の連合自治会理事会で、中の村自治会が出していた約89万円の活動計画が承認されました(他の自治会が希望しなかった)。内容はプログに掲載していますが、①広報分科会、②防災分科会、③景観分科会と3つに分かれており、主な内容を以下に説明します。

(1) 広報分科会 42千円

R7年度のブログの運営費を計上しています。来年度は役員改選なので、今年の内容に対する皆さんの評価によって継続されるかどうか判断されると思っています。

(2)防災分科会 303千円

今秋から「防災の手引き」作りを始めるので、分科会の運営費(53千円)と手引き作成費(200千円)が主なものです。読みやすい内容にするため、市内の印刷会社の協力も織り込んでいます。LED投光器購入費(50千円)は、落合橋たもとの県河川Webカメラへの洪水時照明用です。

(3)景観分科会 545千円

景観分科会の提言を受けて今年度初めに作った活動内容です。

ア.志和地駅周辺の整備

自転車置き場の反対に積みあがった剪定クズを撤去し、代わりの場所に専用置場を設け、駐車場スペースを整備します。また、駅周辺の環境整備範囲の明確化も考えています 別紙実

イ, 桜土手の植栽などの補修

破損したボンボリや器具の調達とイルミネーションを飾る場所を整備します。 自治会役員がこの飾り付けに大変苦労するので、何とかして簡単な方法を見つけ たい思いです。さらに、欠けている桜や彼岸花を補植することも計画しています

ウ、かわち葉ボタン市への参加

昨年は子ども神楽とイルミネーション点灯式を催したのですが、今年は子ども神楽に代えて「六神儀」を奉納していただけないか、志賀神社芸能伝統保存会に要請書 **別紙業** を出そうとしている段階です。併せて葉ボタン市開催日(日曜)のAコープの開店も要請する予定です。なお、焼き芋の製造販売は、今年は看板を作ってやります。

工、撮り鉄を対象にした環境整備

Google Mapの志和地駅をクリックすると、たくさんの投稿写真が載っています。志和地駅はかなり特徴ある駅の様で、桜並木も重要な構成要素です。これを何とかしたいと駅周辺整備計画の中で計画しています。

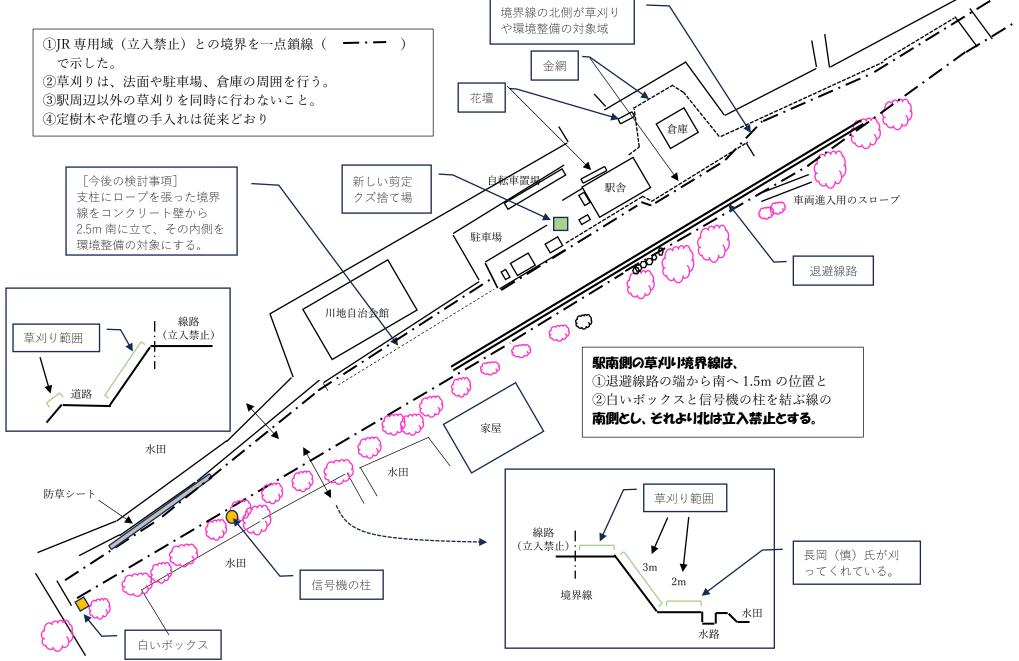
2 . 木舟第2踏切のJRの閉鎖要望への対応 → 別紙

R7年度 自治活動支援交付金予算要望書

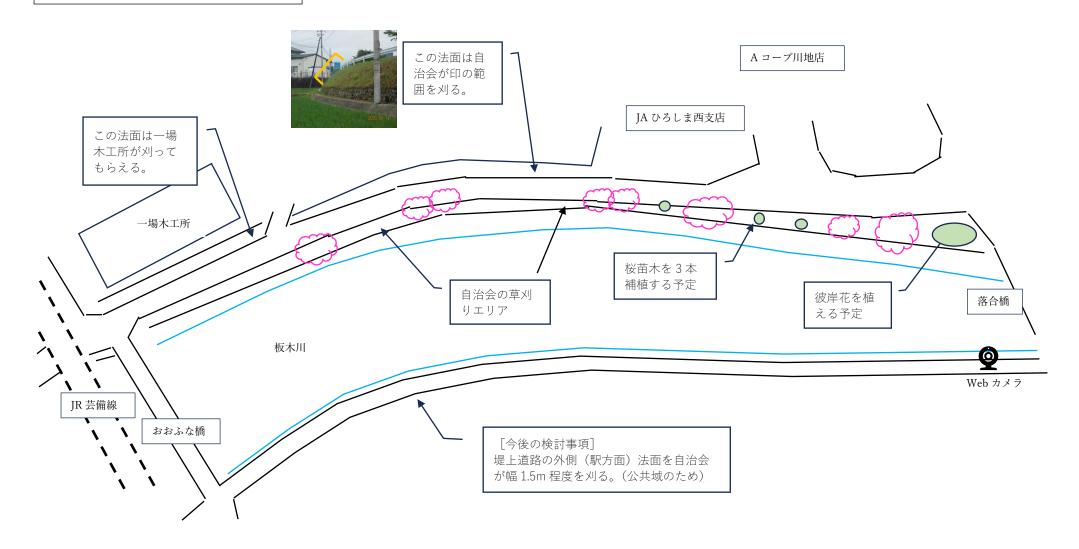
(中の村自治会)

分科会	項目	費目	数量	単価	金額	備考
広報分科会	自治会ブログ運営	サーバー使用料	1年分	7,000	7,000	
		運営委託料	12か月	3,000	36,000	
防災分科会	分科会開催費	委嘱料	3人X3回	5,000	45,000	
		資料印刷費	3回×10部	100	3,000	
		飲料	3回×10人	100	3,000	
	出前講座開催費	飲料	1回×24人	100	2,400	
	「防災の手引き」印刷費	A4版カラー印刷	200部	1,000	200,000	印刷会社による校正やイラスト挿入などを含む。
	Webカメラ投光器	LED投光器	1台	50,000	50,000	下桶氏宅そばWebカメラ(県防災カメラ)の夜間 照明用(対岸に設置して川面を照らし水位を示 す)
	Webカメラ設置(川根氏宅そば)				0	連合自治会に対応を要請した。
景観分科会	志和地駅周辺の整備	剪定クズ置き場撤去費	1式	66,000	66,000	
		真砂土敷設費	2トン3台	30,000	90,000	駐車スペースの整備
		駐車場の案内看板の設置	1式	30,000	30,000	「自治会が整備、駐車時の損傷被害の自己負担、 互恵精神で利用」などを書く。
		剪定クズ置き場用囲い	1式	30,000	30,000	90×180㎝の耐水ボード4枚
		桜苗木の補植	5か所	5,000	25,000	苗木、肥料、支柱を含む。
	桜土手の植栽などの補修	桜苗木の補植	3か所	5,000	15,000	苗木、肥料、支柱を含む。
		イルミネーション枠	1式	100,000	100,000	現在の展示枠の修理と受電設備の改修
		ボンボリ設置用資材	1式	51,600	51,600	取付用支柱(@270、20本)、雪洞(@1540、 30個)の購入
	川地葉ボタン市への参加	舞台設置 費 用	1式	30,000	30,000	Aコープ駐車場
		六神儀団出演料	1回	30,000	30,000	志賀神社芸能伝統保存会
		餅まき費用	10	7,000	7,000	菓子類
		焼き芋の諸材料費	1回	20,000	20,000	サツマイモ、紙袋、木炭など
	撮り鉄を対象にした環境整備	写真展示用ケース	1台	50,000	50,000	
					891,000	

志和地駅周辺の環境整備範囲



桜土手周辺の環境整備範囲



注意事項

- ①刈った草は集めないこと (置き場の草が腐って後始末が大変)
- ②桜の根元に刈った草などを堆積しないこと (桜が弱る可能性)

令和7年8月23日

志賀神社芸能伝統保存会 野崎会長 様

> 中の村自治会 会長 末國富雄

出演依頼書

「かわち葉ボタン市」は、師走の川地地区のイベントで、毎年ピオネットでも報道される風物詩です。午前中は、葉ボタンの販売と他に幾つかの地元団体が飲食物などの販売を行います。中の村自治会も石焼き芋の製造販売を計画しています。葉ボタン市が終了した夕方6時頃からは、板木川桜土手に設けたイルミネーションの点灯カウントダウンを行いますが、その前段で 今年は「志賀神社六神儀」を奉納することを計画しています。

市の無形文化財である六神儀は、志賀神社の奉納行事の一環であり他の場所での奉納事例がほとんど無いことは承知しています。それゆえに、当日は多くの子供がイベントに参加しますので、滅多に鑑賞できない六神儀を見せて、終幕の「豆まき」で相当量の菓子類をまいて子供たちに故郷の風景の一端を見せることは意義あることではないかと考える次第です。具体的な計画は下記のとおりですので、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

記

日時: 令和7年12月14日(日)16時~、1時間程度

場所: JAひろしま西支店駐車場

諸準備:舞台、照明などは保存会と相談しながら自治会が設置

謝礼: 3万円

その他:演技が1時間程度に収まるよう編集ください。

「豆まき」用に菓子類1万円分を用意します。

昨年は「横谷神楽団子ども神楽」を上演した。

以上

木舟第2踏切を通行する方に

くくく 中の村自治会からの注意喚起 >>>

6月7日18時頃、木舟第2踏切で軽トラと列車の衝突寸前事件(直前横断、列車停止)がありました。幸いに事故は起きませんでしたが、7月8日にJRから踏切を廃止か縮小することの可否を8月末までに回答するよう提示がありました。



7月25日に地元の常会を開いて踏切の利用実態やJRの意向に対する意見出しをしました。その時、常会内の軽トラ所有者は事件時刻に同じ場所にいたため事件の当事者は常会以外の者であることも明らかになりました。結果についてJR側に意見提出し、JRから回答があり、次いで自治会の意見を提出しました。

最終的に、①踏切そばの桜の枝切り、②再度このような事件が 発生した場合は踏切の通行規制を行うことを条件に、従来通りの 通行ができる事に決着しました。

木舟第2踏切は、自動車通行止め(軽・小特を除く)規制がある小さな踏切で警報装置はありません。よって、できるだけ通行を回避し、旧県道を利用していただくようお願いします。

R7年9月9日 中の村自治会長